

## 各部会報告目次

当審議会では、三重県公衆衛生審議会条例第 8 条に基づき、下記の部会を設置し、それぞれの分野に携わる有識者等の参画を得て、県民の健康の保持・増進を推進しています。

- 1 歯科保健推進部会（担当課 健康推進課）・・・・・・・・・・ 1  
開催日時 【第 1 回】令和 6 年 8 月 5 日（月）
- 2 自殺対策推進部会（担当課 健康推進課）・・・・・・・・・・ 3  
開催日時 【第 1 回】令和 7 年 1 月 28 日（火）
- 3 予防接種部会（担当課 感染症対策課）・・・・・・・・・・ 5  
開催日時 【第 1 回】令和 7 年 1 月 31 日（金）
- 4 介護予防市町支援部会（担当課 長寿介護課）・・・・・・・・・・ 7  
開催日時 【第 1 回】令和 7 年 1 月 30 日（木）



## 三重県公衆衛生審議会歯科保健推進部会報告

三重県公衆衛生審議会歯科保健推進部会は、三重県公衆衛生審議会条例第8条の規定に基づき、平成24年10月に設置されました。

当部会は、県民の歯と口腔の健康づくりに関する施策を、総合的かつ計画的に推進することを目的としています。

1 開催日時 令和6年8月5日（月）13:15～14:45

2 委員名簿 別紙のとおり

3 出席委員 伊東学会長他12名

4 議事

(1) 三重県の歯科保健の現状「みえ歯と口腔の健康づくり年次報告（案）」について

<事務局説明概要>

- ・「みえ歯と口腔の健康づくり条例」および「第2次みえ歯と口腔の健康づくり基本計画」に基づいて、各ライフステージや個別の歯科保健対策に関する歯科保健指導、人材育成研修、啓発等、令和5年度の歯科保健推進事業を実施しました。

<委員からの主な意見>

- ・能登半島地震に歯科医師、歯科衛生士の他歯科技工士も派遣された。
- ・フッ化物洗口の実施人数は、令和4年度7,500名程度、令和5年度1万人程度と取組の再開など増加しているのはありがたい。

<事務局からの回答>

- ・引き続き取組を推進します。

(2) 令和6年度歯科保健推進事業について

<事務局説明概要>

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた事業（高齢者施設における口腔ケアや障がい者施設等での講話・歯科保健指導等）を再開します。また、医療的ケア児に対する医科歯科連携を推進していきます。

<委員からの主な意見>

- ・在宅歯科保健医療・医科歯科連携に取り組む歯科診療所も増加していると思うが、それに対しての連携が少ないように感じる。今後の取り組みとして何か県の方で考えていることはあるか。

<事務局からの回答>

- ・医科歯科連携の取組が一層進むよう、引き続き、医科歯科連携に係る会議や医師会・歯科医師会合同の研修会を行いたい。また、在宅歯科保健医療（地域口腔ケアステーション）の案内や医科歯科連携に係る各種啓発リーフレットを配布したい。

## 三重県公衆衛生審議会歯科保健推進部会委員名簿

(敬称略・50音順)

所 属	役 職	委員氏名
三重県歯科医師会	理事	新 達也
三重県歯科医師会	常務理事	伊東 学
三重県地域包括・ 在宅介護支援センター協議会	事業運営委員	伊藤 理恵
三重県市町保健師協議会	幹事	大西 郁子
三重県学校保健会	養護教諭	岡山 朋子
三重県歯科技工士会	会長	片岡 均
三重県医師会	常任理事	今野 信太郎
三重県歯科衛生士会	会長	笹間 滋代
三重県教育委員会事務局 保健体育課	健康教育班長	貞光 祐子
三重県保健所長会	桑名保健所長	芝田 登美子
愛知学院大学	歯学部 口腔衛生学講座教授	嶋崎 義浩
三重県経営者協会	中部電力パワーグリッド株式会社 三重支社 副支社長	新田 昌弘
三重県栄養士会	理事	松田 佳子

(任期 令和5年12月1日～令和7年11月30日)

# 三重県公衆衛生審議会自殺対策推進部会報告

健康推進課

三重県公衆衛生審議会自殺対策推進部会は、三重県公衆衛生審議会条例第8条の規定に基づき、平成18年8月に設置されました。

当部会は、県内の関係機関が連携を強化し、現状や課題を明らかにしながら自殺を予防するための対策および評価を行い、三重県における効果的な自殺対策の推進等を図ることを目的としています。

1 開催日時 令和7年1月28日（火） 18時00分から19時30分まで

2 委員名簿 別紙のとおり

3 出席委員 齋藤洋一部会長 ほかに委員17名（2名欠席）

4 審議内容

（1）自殺対策について

<事務局説明概要>

三重県の自殺の現状について、国の自殺対策の動向について、第4次三重県自殺対策行動計画の進捗状況について説明を行った。

<委員からの主な意見>

- ・自殺予防週間や自殺対策強化月間の認知度が、前年に比べて減っているが、実際は県や市町、民間団体等において、自殺予防週間や自殺対策強化月間で様々なことをしている。全体として、マスコミを含めて盛り上げようという働きかけをしていく必要がある。
- ・若者へのアウトリーチ支援の中にある、アドバイザーを学校等に派遣するという取組はどういった学校を対象としているのか。また、今後の方向性を教えてほしい。

<意見に対する回答>

- ・自殺予防週間や自殺対策強化月間に県で実施している取組としては、市町や保健所の取組をまとめて県のホームページに載せている。また、県や課のX（旧Twitter）での広報や、ラジオ、県民だよりを使った周知をしている。より良い方法を検討させていただく。
- ・現状、アドバイザー派遣は県教育委員会と連携して、県立の高校を主に対象としている。今後、対象を広げるために事務局で検討段階である。

## 三重県公衆衛生審議会自殺対策推進部会委員名簿

任期：令和6年9月1日～令和9年8月31日

	所属	役職名	委員名	備考
1	三重大学医学系研究科精神神経科学分野	教授	岡田 元宏	
2	三重産業保健総合支援センター	副所長	岡村 和良	新任
3	三重県司法書士会	副会長	木内 洋介	
4	三重労働局労働基準部健康安全課	課長	久保田 洋一	新任
5	日本産業カウンセラー協会中部支部三重事務所	所長	越村 立子	新任
6	三重県医師会	理事	齋藤 洋一	部会長
7	三重県保健所長会	所長	芝田 登美子	
8	三重弁護士会	弁護士	澁谷 郁子	新任
9	三重県経営者協会	専務理事兼事務局長	田中 俊充	
10	三重県精神保健福祉士協会	精神保健福祉士	辻 朋子	新任
11	三重県警察本部生活安全部人身安全対策課	課長補佐	中村 健太郎	
12	社会福祉法人三重県社会福祉協議会	生活福祉資金課長	日向 智信	新任
13	三重県市町保健師協議会	幹事	平澤 宏子	
14	公益社団法人三重県看護協会	常任理事	藤田 典子	
15	一般社団法人三重県薬剤師会	副会長	藤本 修嗣	新任
16	認定特定非営利活動法人三重いのちの電話協会	副理事長 兼事務局長	古庄 憲之	
17	三重県教育委員会事務局 研修企画・支援課教育相談班	班長	前川 ゆかり	
18	一般社団法人三重県臨床心理士会	理事	宮村 伸子	
19	三重県精神科病院会	理事	森川 将行	副部会長
20	地方独立行政法人三重県立総合医療センター	救命救急センター長	山本 章貴	

## 三重県公衆衛生審議会予防接種部会報告

感染症対策課

三重県公衆衛生審議会予防接種部会は、三重県公衆衛生審議会条例第8条の規定に基づき、平成13年7月に設置されました。

当部会は、感染症予防対策上、積極的かつ有効な手段である予防接種の接種率の向上を図るとともに、安全で有効な予防接種の実施をすすめるため、予防接種全般に関する検討を行うことを目的としています。

### 【第1回部会】

- 1 開催日時 令和7年1月31日（金）オンライン開催
- 2 委員名簿 別紙のとおり
- 3 出席委員 野村豊樹部会長 ほか委員7名
- 4 審議内容

#### (1) 報告事項

##### <事務局説明概要>

予防接種後副反応疑い報告や予防接種の間違い報告の状況、三重県予防接種センター活動等について報告するとともに、HPVワクチンのキャッチアップ接種については、接種機会確保のため、令和7年度末まで経過措置が設けられること等について報告した。

#### (2) 協議事項

##### ①A類疾病の定期接種における接種率調査結果等について

##### <事務局説明概要>

A類疾病の定期接種における接種率調査結果の概要と、HPVワクチン接種にかかる令和6年度の市町における取組の状況等について報告を行うとともに、HPVワクチンの経過措置を踏まえた対応方針について事務局（案）を説明した。

##### <協議結果>

HPVワクチンの経過措置対象者となるためには、令和7年3月末までに接種を開始する必要があることから、その対象者や保護者等への周知や勧奨等について、改めて予防接種の実施主体である市町へ対応を依頼する事務局（案）が承認された。

##### ②令和7年度予防接種センター事業の委託先選定について

##### <協議結果>

予防接種センターの委託先について、予防接種に関する専門性を有し接種困難者や渡航者への接種対応等の実績があることから、独立行政法人国立病院機構三重病院に委託することが適当であると承認された。

三重県公衆衛生審議会予防接種部会委員名簿

氏 名	所 属 役 職
野村 豊樹	三重県医師会 副会長
坂倉 健二	三重県医師会 理事
落合 仁	三重県小児科医会 会長
菅 秀	独立行政法人国立病院機構 三重病院 副院長 (三重県予防接種センター 代表)
谷口 真紀	三重県市長会 (都市保健衛生連絡協議会 会長) (伊賀市健康福祉部健康推進課 課長)
小田原 広治	三重県町村会 (紀宝町みらい健康課 課長)
矢野 真由美	三重県市町保健師協議会 副会長 (朝日町保険福祉課 主幹)
中村 公郎	三重県保健所長会 (尾鷲保健所 所長)
下尾 貴宏	三重県保健環境研究所 所長

任期：令和5年9月1日から令和7年8月31日まで



## 三重県公衆衛生審議会介護予防市町支援部会報告

長寿介護課

三重県公衆衛生審議会介護予防市町支援部会は、三重県公衆衛生審議会条例第8条の規定に基づき、平成18年10月に設置されました。

当部会は、市町における効果的な介護予防関連事業の実施のために、県が行う施策について検討することを目的としています。

### 【第1回部会】

- 1 開催日時 令和7年1月30日（木）13時30分から15時00分まで
- 2 開催方法 Web会議システム（ZOOM）を用いたオンライン会議
- 3 委員名簿 別紙のとおり
- 4 出席委員 石田亘宏部会長 ほか9名
- 5 審議内容

#### （1）介護予防事業の取組について

##### <事務局説明概要>

- ・令和6年度の介護予防に係る県の市町支援事業および県内市町の状況、令和7年度以降の取組予定について報告した。

##### <委員からの主な意見>

- ・高齢者の社会参加を促すことはフレイル予防につながることから、とくに閉じこもりがちの方を把握し、その方に対してボランティアなど地域の出場に出てきてもらえるよう働きかけを行っていくことが重要である。
- ・リハビリに関して、運動だけでなく、栄養、口腔ケアについても大事であることを行政から住民の方々に啓発してほしい。その上で、各市町事業に対して三重県リハビリテーション情報センターや三重県栄養士会、三重県歯科衛生士会とで共同して専門職の派遣など支援を行なっていきたい。ただし、派遣できる専門職は限られているため、どこからでも何人でも受講できるようなオンラインによる研修会の実施など専門職派遣団体の負担を軽減できるような開催方法も検討してほしい。
- ・三重県のホームページを見たら、すぐに好事例等を確認できるようにすると良いと思われる。県で作成したものでなくとも、国の該当ページのリンクを掲載してもらっただけでも利便性がある。

## 三重県介護予防市町支援委員会委員名簿

◎部会長   ○副部会長

任期：令和5年5月1日～令和7年4月30日

代表区分	委員名	所属団体及び役職(職業)	役職等
医療関係団体	◎石田 亘宏	三重県医師会	理事
	眞砂 由利	三重県看護協会	専務理事
学識経験者(運動器)	南出 光章	三重県理学療法士会	会長
	伊藤 正敏	三重県作業療法士会	地域リハビリテーション部部長
学識経験者(口腔機能)	○伊東 学	三重県歯科医師会	常務理事
	廣瀬 磨由子	三重県歯科衛生士会	理事
学識経験者(栄養)	高橋 充子	三重県栄養士会	理事
学識経験者(認知症・うつ)	新堂 晃大	三重大学大学院医学系研究科神経病態内科学	教授
その他 (介護予防事業関係団体)	山崎 和彦	三重県社会福祉協議会	事務局次長兼福祉研修人材部長
	竹下 彰人	三重県地域包括・在宅介護支援センター協議会	会長
関係行政機関	矢野 真由美	三重県市町保健師協議会	副会長
	位田 真知子	桑名市	保健福祉部介護高齢課長